

多々良川にまた!

釣り糸被害のクロツラヘラサギ 4日目に保護!! しかし

11月13日(日)午後3時ごろ、多々良川河口で嘴に釣り糸が絡みルアーが掛かったクロツラヘラサギを発見しました。釣り糸が絡んでいるため嘴が開かないので餌がとれません。



14日のクロツラヘラサギ

一時背中にルアーの針が掛かり飛べずにいたので、保護を試みましたが、針はずれ飛んで行きました。

14、15日と何とか一刻でも早く保護するために、監視し、機を見つけてはウェットスーツを着用して水中を近づき保護を試みましたが、成功しませんでした。



13日、背中に針が掛かり飛べず

4日目の16日(水)午前中、多々良川河口域に被害個体がいなかったため、上流域、和臼、香椎など近隣地区を捜索し終えたところに、県の担当者から「粕屋町の駕与丁公園にいる」との連絡がありました。

早速駆けつけ、午後1時駕与丁公園の小島にいる被害個体のクロツ

ラヘラサギを確認しました。

粕屋町関係者、県の担当者と協議し、夕方ウェットスーツを着用して小島に近づき保護することになりました。

監視を続けるうちに、午後5時ごろ、クロツラヘラサギが池の隅に飛んでいきました。橋げたの下にいたので、一人が網で追い出し、待ち受けた一人が網で捕獲し、保護することができました。



福岡市動物園へ搬送し、治療を受けました。麻酔をして大きな3ヶ所の傷を縫合(背中7針、ひじ4針、脇5針)、点滴をしながら集中治療室へ。胸の筋肉がすっかり落ち、体重は約1kgに減少、衰弱していました。(普通体重は1.8kgくらい) 早く元気になって、自然に戻れるよう願っています。



追記:動物園で手厚い看護を受けていましたが、残念ながら11月24日朝、死亡しました。

多々良川では、これまで2007年から今回を含めクロツラヘラサギ4羽、ヘラサギ1羽が粗大ゴミ・釣りゴミの犠牲になりました。他の鳥も犠牲になっています。このままでいいのでしょうか、これ以上犠牲になる鳥を出たくありません。みなさんのお力添えをお願いします。

クロツラヘラサギは朝鮮半島・中国北部・ロシアなどの無人島で繁殖、博多湾周辺には、毎年50羽ほどが渡来し、世界的にも重要な越冬地となっています。多々良川では秋から春まで姿を見ることができます。世界に約2000羽しかいないクロツラヘラサギは、環境省レッドリストでも絶滅危惧A類に指定されています。

多々良川は自然が豊かで、釣りをされる方も多く、川の清掃やルアーや釣り糸などを回収している釣り人たちもおられますが、中には鳥の近くで釣りをし、釣り糸などを放置していく心無い釣り人もいます。

釣りをされる方は「釣りゴミ持ち帰り&見つけたら回収」を、魚以外の生きものにも優しい心配りをお願いします。

当会では、地域の皆さんと多々良川の清掃等を行い、環境保全に努めてきました。今後このような事故がおきないよう、地域の方・行政等とより良い対策を考えていきたいと思ひます。

多々良川でこれ以上被害を出さないよう、一緒にクロツラヘラサギを守っていきましょう。

